



松岡映丘《右大臣實朝》1932年 日本芸術院蔵

the Masterpieces of the Japan Art Academy.

2018.7.14(土) → 9.9(日)

日本芸術院
所蔵作品名品展

開館時間
午前9時30分～午後5時
〔入館は午後4時30分まで〕

休館日
毎週月曜日
〔祝日のときは開館し、その翌日を休館〕

入館料

- 一般 720(640)円
- 大学生 510(460)円
- 高校生以下は無料

● ()内は20名以上の団体割引料金
● 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方とその付き添いの方1名は無料となります。
● 第3日曜日(家庭の日)〔7月15日、8月19日〕は、大学生は無料となります。
● 7月22日(日)は「親子の日」につき、お子様(高校生以下)連れの保護者の方は、2名まで無料となります。

主 催 公益財団法人小杉放菴記念日光美術館／日光市／日光市教育委員会／下野新聞社

出品協力 日本芸術院



精美
藝術
華の

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO



小杉放菴記念日光美術館

創立99年
日本美術の精華

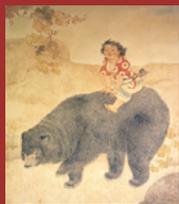
日本芸術院所蔵作品名品展
2018.7.14(土) → 9.9(日)

日本芸術院は、1907年に文部省美術展覧会(文展)開催のために設置された美術審査委員会を母体に、1919年に帝国美術院として創設されました。その後、帝国美術院時代を経て、戦後の1947年に日本芸術院へ改称、芸術上の功績者のための我が国唯一の荣誉機関として現在に至っています。

小杉放菴もまた、日本芸術院の会員でした。1935年、帝国美術院の改組にともない会員となった放菴は、いったん辞表を提出しますが、1937年の帝国美術院設立時に再任命され、その後は1958年に辞任するまで、日本美術の将来のため、芸術院の活動に尽くしました。

帝国美術院時代から数えて、まもなく100年という歴史と伝統をもつ日本芸術院には、同院会員の作品をはじめ、日本芸術院賞を受賞した作品など、近現代の巨匠たちの作品が数多く所蔵されています。本展は、これら名品の数々から、小杉放菴と同時代に活躍した美術家たちを中心とする日本画、洋画、彫刻作品をご紹介しますとともに、放菴にとって日本芸術院の会員であったことは、どのような意味を持っていたのかを考える機会とするものです。また、これにあわせ、小杉放菴が会員だった時代の芸術院美術展出品作である、《金太郎遊行》(栃木県立美術館蔵)も特別出品いたします。

特別出品



小杉放菴
《金太郎遊行》1944年
栃木県立美術館蔵



結城素明《炭窯》1934年 日本芸術院蔵



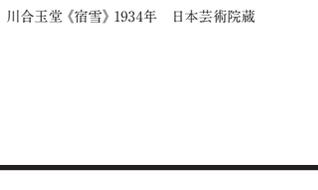
竹内栖鳳《雄飛報國の秋》1938年 日本芸術院蔵



荒田喜二郎《雪晴の港》1951年 日本芸術院蔵



荒木十畝《竊玉》1934年 日本芸術院蔵



川合玉堂《宿雪》1934年 日本芸術院蔵



橋本朝秀《華嚴》1954年 日本芸術院蔵

event

[会期中の催し物]

1.

講演会「帝展改組と小杉放菴—芸術院の創設」

講師:増野恵子氏(早稲田大学非常勤講師)

9月1日(土)午後2時より

※入館券をお求めのうえ、美術館受付前にお集まりください。

2.

担当学芸員によるギャラリー・トーク

7月22日(日)、8月18日(土)

各時間=午前11時~(1時間程度)

※入館料のみでご参加いただけます。

ACCESS INFORMATION



小杉放菴記念日光美術館

〒321-1431 栃木県日光市山内2388-3
Tel.0288-50-1200

電車

東武日光駅、JR日光駅から清滝・細尾、中禅寺・湯元、西参道(東照宮)方面行きバス5分。
神橋停留所より徒歩3分

車

日光宇都宮道路・日光インターから約2km

駐車場

併設の市営駐車場をご利用ください。美術館受付で駐車券を提示していただくと、1時間まで無料となります。休日、美術館周辺はたいへん混み合う場合がございますので、時間には余裕をもってお越しください。

MAP

